

ホームページ掲載案内文（情報公開文書）

課題名：血液腫瘍の遺伝子検査残余検体を用いた検体バンクの構築

研究責任者：横山 和明（東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科／輸血部（併任）准教授）

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科では、患者様の余剰検体・診療情報を使わせていただき、以下の研究を行っています。下記「対象となる方」に該当する患者様で、ご自分の余剰検体・診療情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記のお問い合わせ窓口までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることは一切ありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点で既に研究結果が論文等で公表されている場合には、その結果については廃棄できないことをご了承ください。

研究の目的

白血病をはじめとする様々な血液腫瘍に対する新たな診断・治療法の開発を迅速かつ効率的に行うことができるよう、診療のための遺伝子検査で残った余剰検体を医科研の臨床検体バンクに保管し、現在あるいは将来、医科研の倫理審査委員会等で承認された研究に利用します。

研究の方法

診療のための遺伝子検査のために採取された血液や骨髄液から抽出された DNA や RNA など、検査で残った余剰検体（及び凍結保存した骨髄の細胞）を、匿名化（個人を特定できないように研究用の番号に置き換えること）した上で保管し、医科学研究所の倫理審査委員会等で承認された研究のために用います。研究内容や方法は、個別に申請・承認された研究によって異なります。これらの研究の際には、診療カルテから得られる病気に関わる情報（診断名、病期、組織型、検査結果、治療経過、予後など）も同様に匿名化した上で併せて解析する可能性があります。これらの試料・情報は、研究を行う者が患者様ご本人を特定できないように取り扱います。

対象となる方・使用させていただく試料

- ・当院で行われた遺伝子検査の際に採取され、保存されている余剰検体に係る患者様
- ・「遺伝子検査余剰検体のバンク化事業」（承認番号 26-81-0128）及び「遺伝子検査余剰検体の医科研バンキング事業」（承認番号 2019-53）の研究参加に同意され、保存されている余剰検体に係る患者様
- ・医科研や共同研究機関で承認された「血液疾患のゲノム解析研究」（医科研承認番号：26-112-270402）、「血液疾患の臨床ゲノム解析研究」（医科研承認番号：2020-1-0422）、「血液疾患の臨床ゲノム解析研究(継続)」（医科研承認番号：2024-103-0326）等の次世代シーケンスを用いたがんの遺伝子解析を含む研究に参加し、試料・情報の二次利用に同意頂き、解析に必要な既存試料や情報が保存されている患者様
- ・上記のうち、その後通院されていない患者様、及び亡くなられた患者様を含みます（現在通院され、新たに遺伝子検査を受ける患者様には、別途、文書で説明し同意をいただきます。）

研究期間

2026 年 8 月 5 日～ 2031 年 3 月 31 日（保存した検体を使い切るまで継続する予定です）

個人情報の取扱い

余剰検体や診療情報には研究用 ID（番号）のみをつけて管理します。個人を識別する情報と研究用 ID を記した対応表は、個人情報保護管理者が厳重に管理し、研究を行う者が患者様を特定することはできません。

研究実施体制

研究責任者 横山 和明（血液腫瘍内科／輸血部（併任）准教授）

個人情報保護管理者 伊藤 美香（血液腫瘍内科 学術専門職員）

お問い合わせ・利用辞退のお申し出窓口

詳しい情報が必要な患者様、1996 年以後に当院を受診され、余剰検体の利用にご協力いただけない患者様は、下記までご連絡ください。ご希望があれば、他の対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧できますのでお申し出ください。

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科 研究責任者 横山 和明

電話：03-5449-5695 E-mail：k-yoko@ims.u-tokyo.ac.jp

【東京大学医科学研究所】 研究所長名：岩間 厚志 住所：東京都港区白金台 4-6-1 ホームページ：https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/ 研究倫理支援室：https://ore-imsut.jp/
